

令和 8 年度病害虫発生予察特殊報第 3 号

令和 8 年 1 0 月 5 日
愛 知 県

1 病害虫名 キク小斑点病 (病原: *Stemphylium lycopersici*)

2 発生作物 キク

3 発生地域 東三河地域

4 発生確認の経過

令和 8 年 5 月下旬、東三河地域の施設キクほ場（品種：精の一世）で、葉に輪紋状の斑点症状が発生している株を確認した。当該株を採取し調べたところ *Stemphylium* 属菌の特徴が確認された。

このため、農林水産省名古屋植物防疫所へ同定を依頼したところ、本県では未発生の *Stemphylium lycopersici* によるキク小斑点病であることが確認された。

5 国内の発生状況

国内では、キクの葉への被害として、令和 4 年に佐賀県、令和 5 年に福岡県、令和 7 年に宮崎県から特殊報が発表されている。

なお、本菌はトマト斑点病やトルコギキョウ褐斑病を引き起こし、これらの茎葉に病斑が形成されることが知られている。

6 病徴及び菌の特徴

(1) 葉に褐色の輪紋や、葉縁部が褐色に枯れる症状がみられる（写真 1、2）。

(2) 本菌は糸状菌の一種で、不完全菌類に分類される。分生子柄の先端に分生子が単生する。分生子は淡褐色～褐色であり、縦横の隔壁を有する俵型～長楕円形である（写真 3）。生育適温は 25℃である。

7 防除対策

(1) 令和 8 年 10 月 5 日現在、本病に対する登録農薬はないため、耕種的防除を行う。

(2) 罹病葉や罹病残渣は伝染源となるおそれがあるため、ほ場外へ持ち出して適切に処分する。

(3) ほ場内の排水対策を徹底する。また、施設内が多湿にならないように、適宜換気を行う。

8 連絡先

農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室

電話 0561-41-9513



写真1 輪紋状及び葉縁部の病斑



写真2 被害株の様子



写真3 分生子
(農林水産省名古屋植物防疫所原図 ※写真の無断転載禁止)